

5月4日：休場明けのVN指数は反落

休場明けの取引となった水曜日。VN指数は1.33%安の1,348.68ポイントで取引を終えた。投資家は引き続き市場の先行きに悲観的だった。

VN指数は連休前最後の取引で16ポイントほど上昇していたが、本日は18ポイントほど下落して取引を終えた。騰落別では479銘柄のうち301銘柄が下落した。

ホーチミン市場の出来高は前日比でおよそ23%減少し、14兆4,500億ドン（6億2,929万米ドル）となった。

VN30指数では、採用銘柄のうち21銘柄が下落した。TPバンクは4.8%安と直近5ヶ月間の最安値となった。SSI証券も4.6%下げ、直近11ヶ月の安値をつけた。さらにテクコムバンク（TCB）が4.5%安、サコムバンク（STB）が3.4%安、ビンコムリテール（VRE）が3.1%安とそれぞれ売られた。

一方でVN30指数の採用銘柄のうち、8銘柄が上昇した。ペトロベトナムパワー（POW）は6.8%高と上昇率でトップとなった。他にもペトロベトナムガス（GAS）が1.9%高、バオベトホールディングス（BVH）が1.4%高とそれぞれ上昇した。

外国人投資家は合わせて3,040億ドンを売り越した。特にカンディエン不動産（KDH）-2.92%、ドゥックザン化学（DGC）-0.62%に外国人投資家の売りが集まった。

またハノイ市場のHNX指数は1.33%安、UPCoM指数は0.28%安とともに下落した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。